

高浜3、4号来週合格

規制委、審査書公表へ

関西電力が再稼働を目指す高浜原発3、4号機について、原子力規制委員会が来週にも、新規基準に適合していると結論付けた審査書を公表することが3日、分かった。高浜3、4号機は正式に審査合格となる。

12日の定例会合で決定に向けて議論する方向で調整している。合格となれば九州電力川内1、2号機（鹿児島県）に続き2例目となる。

ただし審査終了には設備の詳細設計をまとめた工事計画と、運転管理ルールとなる保安規定の認可のほか、地元了解などの手続きが必要となり、再稼働は早くても数カ月後となる見通し。

関電は2013年7月の新基準施行当日に高浜3、4号

機の審査を申請。想定する地震や津波を厳しくしたほか、電源や注水設備などを増強した。規制委は昨年12月に審査書の案を公表、1カ月間の意見公募で寄せられた約3600通の内容を精査している。関電は今年2日に工事計画

審査の説明ビデオ要請

高浜町 住民への放送用に

関西電力高浜原発3、4号機が立地する高浜町が、再稼働の前提になる審査合格を近く正式に決める見込みの原子力規制委員会に対し、審査内容の住民理解に向けて、説明会開催の代わりにビデオ作成を要請していることが3日、分かった。

の補正書を規制委に提出したが、保安規定については「未定」としている。また、事故に備えて避難計画を策定する30キロ圏内に滋賀県や京都府の自治体も含まれるため、地元同意の範囲や手続きの進め方も焦点となりそうだ。

規制委事務局の原子力規制庁が定例記者会見で明らかにした。野瀬豊町長が1月30日に清水康弘規制庁次長に面会しビデオ作成を要請。面会は町長側の意向で非公開で行われた。規制庁が対応を検討している。野瀬町長は「イベント的な

説明会は一つの手法だが、広く町民に知ってもらうには限定的」と説明会は開催しない方針を強調。ビデオは、ほぼ金世帯が視聴できる有線放送で流す予定で「ビデオを見てもらった上で町民の声を聞き、（同意の）判断をする」となる」と話している。ビデオの作成には2月いっぱいかかる見通し。審査が先行する九州電力川内原発の説明会では再稼働への批判のほか、避難計画の実効性などを問う質問が住民から相次ぎ混乱した。